

7. 与野本町小学校を核とした公共施設の複合化検討ワークショップ（平成25年度）の概要



- **第1回ワークショップ**（平成25年9月27日）
 - 自己紹介、オリエンテーション、ミニワークショップ
- **第2回ワークショップ**（平成25年10月11日）
 - 事例の視察（泰平小、吉川美南小）
- **勉強会**（平成25年11月11日）
 - 全国の事例について受講
- **第3回ワークショップ**（平成25年11月16日）
 - 検討対象施設のフィールドワーク、「わくわく」のイメージ
- **第4回ワークショップ**（平成25年12月2日）
 - デザインゲーム（複合施設の機能配置案の作成）
- **パブリックミーティング**（平成25年12月26日）
 - 小学生ワークショップ、オープン・ワークショップ
- **第5回ワークショップ**（平成26年1月28日）
 - 機能配置最終案の確認、施設運営者との意見交換

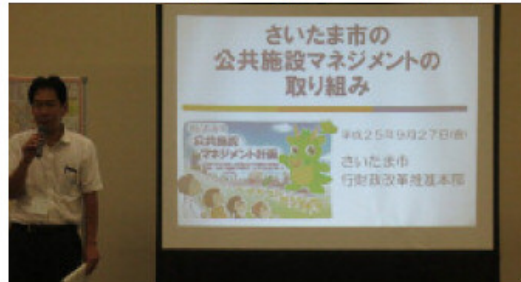
第1回 平成25年9月27日(金)19時～21時

自己紹介



ワークショッププレクチャー

さいたま市の取組の説明



ミニワークショップ こどもの頃の小学校での楽しかった思い出を絵に描いて発表しました。



第2回 平成25年10月11日(金)9時半～17時

視察 実際に複合化している小学校を見学しました。

泰平小学校(北区)

小学校の余裕教室を改修して、デイサービスセンターを設置



美南小学校(吉川市)

小学校と公民館、高齢者ふれあい広場、子育て支援センター、学童保育室の複合



意見交換 視察した2施設について、2チームに分かれて、感じたことを出しました。

サクラソウチーム

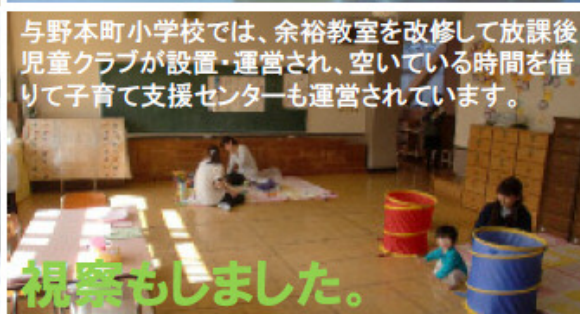


しらさぎチーム



勉強会 平成25年11月11日(月)10時～12時

千葉工業大学倉斗先生を講師にお迎えし、全国の学校における複合化の事例について学びました。



第3回 平成25年11月16日(土)9時半～17時

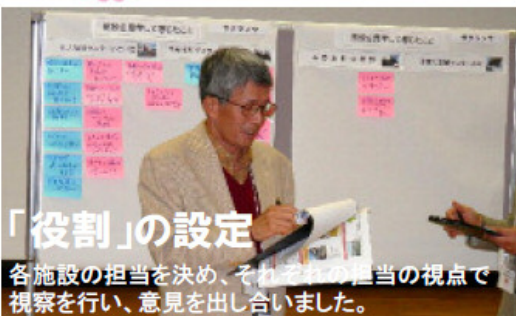
フィールドワーク 与野本町小学校と周辺の複合化候補施設を見学しました。



意見交換 見学して感じたことを出し合い、与野本町小学校を核とした複合施設の「わくわく」をイメージしました。

 **サクラソウチーム**

 **しらさぎチーム**



第4回 平成25年12月2日(月)19時～21時

ワークショップ 与野本町小学校ほか5施設を複合化の検討対象として、平面図を使って機能配置案を検討しました。

デザインゲーム

4施設を複合化した複合施設の計画案

しらさぎチーム、サクラソウチームの2チームに分かれて作成

建替検討範囲

与野本町小学校
 -特別教室:6
 -給食調理室:1
 -ポイラー室:1

老人福祉センター いこい荘
 -ラウンジ:3
 -大広間:2
 -和室:7
 -調理研修室:1
 -浴室・更衣室:2
 -ポイラー室:1 /等

子育て支援センターよの
 -ロビー:1
 -事務室:1
 -遊戯室:1
 -授乳室:1
 -相談室:1 /等

与野本町 放課後児童クラブ
 -遊戯室、事務室、調理室
 -遊戯室

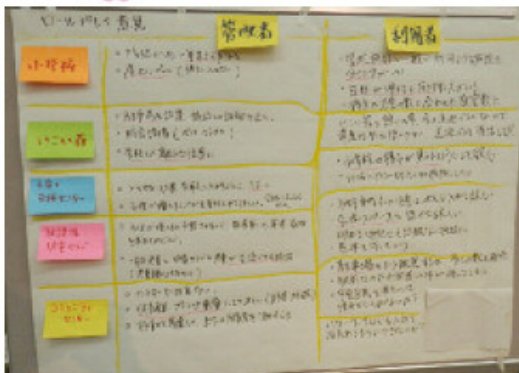
■平面図に、各施設の機能(部屋)のカードを並べて、機能配置案を作成します。

「役割」の設定

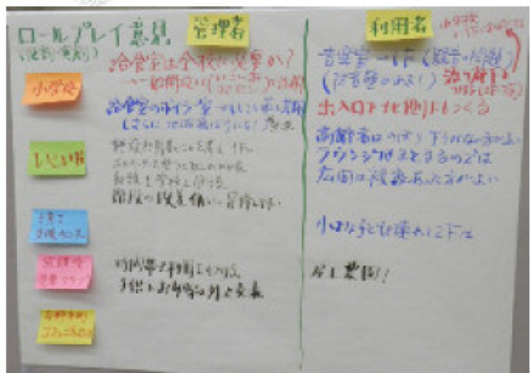
各メンバーで下記の役割を分担し、それぞれの役割の立場で発言しました。

与野本町小学校	管理者(校長)
	利用者(児童・保護者)
老人福祉センター いこい荘	管理者
	利用者
子育て支援センターよの	管理者
	利用者
与野本町 放課後児童クラブ	管理者
	利用者
与野本町 コミュニティセンター	管理者
	利用者

サクラソウチーム



しらさぎチーム



パブリックミーティング

平成25年12月26日(月)14時半～16時半

小学生ワークショップ 与野本町小の児童から、学校の好きな場所や困っていることなどを聞きました。

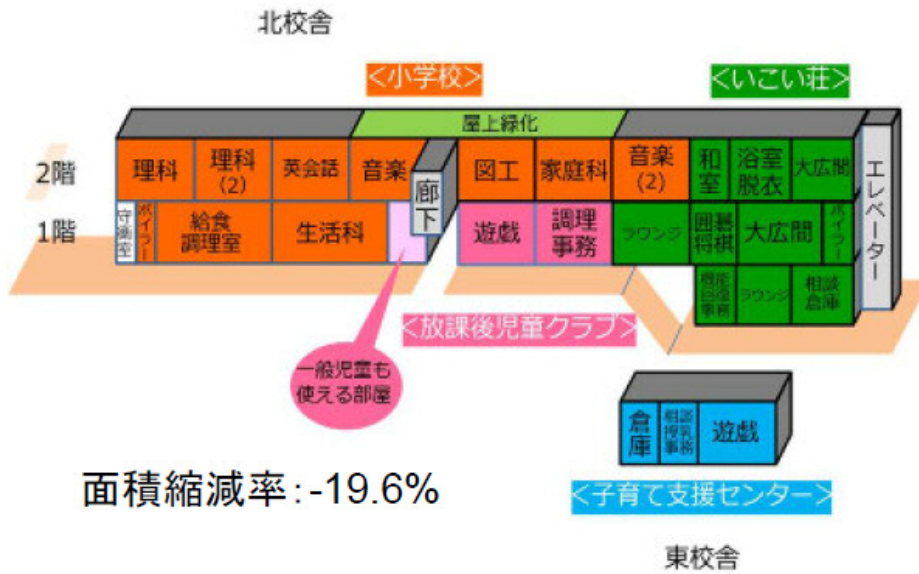


オープン・ワークショップ 各チームの機能配置案を説明し、来場者と意見交換を行いました。

 **サクラソウチーム**

 **しらさぎチーム**





15



16

第5回 平成26年1月28日(火)18時半～20時半

ワークショップ パブリック・ミーティングを振り返り、機能配置案の最終案を確認しました。

 **サクラソウチーム**

 **しらさぎチーム**



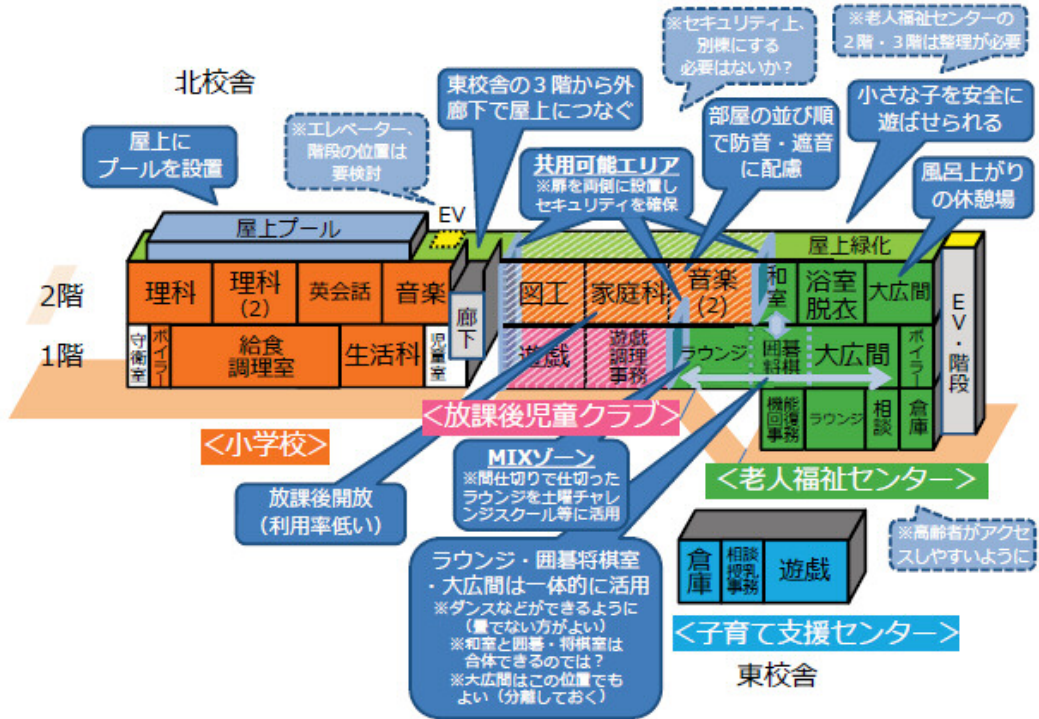
各施設の運営者からコメントをいただき、意見交換をしました。



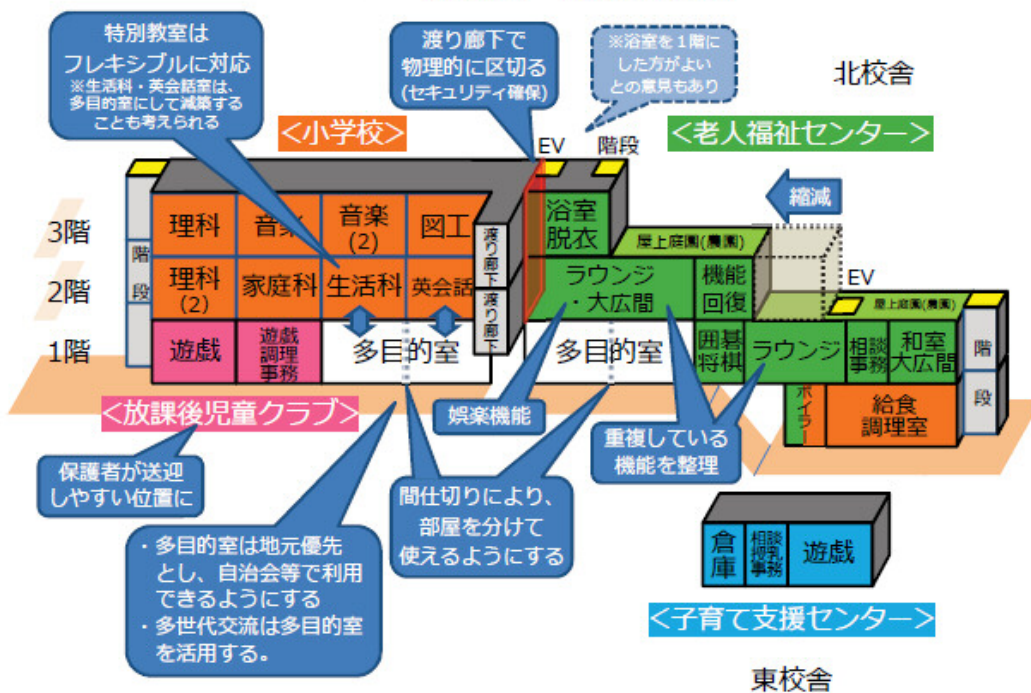
最後に参加者全員から、一言ずつコメントをいただきました。



ワークショップ最終まとめ
サクラソウチームの機能配置案



ワークショップ最終まとめ
しらさぎチームの機能配置案



施設職員等のコメント

サクラソウチームへのコメント
しらすぎチームへのコメント

<h3>与野本町放課後児童クラブ</h3> <p>良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> 一番遅く(19時)まで開いている1階にあると出入りにし易く便利 1階にあってありがたい 活動中に高齢者と対話できてよい 出入りに近くてありがたい <p>意見・要望</p> <ul style="list-style-type: none"> 送迎もあり、車寄せのスペースが必要 障害児、健全児と一緒に通わせる工夫が欲しい 屋上利用時、動物・植物園として活用したい(コミュニティが生まれるのでは?) 子供は遊ぶことが仕事、身体を動かせる場所が欲しい 放課後、図書室を使えるとよい <p>いい荘</p> <p>意見・要望</p> <ul style="list-style-type: none"> 風呂3階については、非常時対応に難あり、1階の方が安心・安全 ※緊急時にストレッチャーが入ることがある カラオケ室、防音必要 (カラオケしたい人が集まるため) ※カラオケBOX程度の大きさで可 大広間に防音装置をつけてほしい 団体での飲酒はOKにしている施設あり テーブル、椅子が必要(障子の負担軽減のため)和室は不要? 健康相談 風呂の横にラウンジがほしい 和室(茶室)が必要、囲碁等の隣にあるとよい サークル活動が盛んなので、活動用の部屋があるとよい 		<h3>子育て支援センターよの</h3> <p>良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者は0歳児~(十保護者)のため避難し易い位置(1階)がよい 高齢者の方の相談もあり、交流できる環境はよい <p>意見・要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ベビーカー・自転車のスペース必要(常に30~40台利用している) 女性利用者がほとんど、交流しやすい施設がよい 避難訓練時の全体とりまど役が必要 施設利用時間は、9:00~12:00 13:00~16:00 防犯の対応が必要
<h3>与野本町コミュニティセンター</h3> <p>良い点</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者と子供が交流できるのはよいことだと思う <p>意見・要望</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理については修繕の対応が難しい(主管課がバラバラ)、建築時に分担ルール等を決めておくべき 全体の防火管理者が必要 光熱費の支払い分担、電球の取り換えなど、清掃担当 役割分担が難しい。考慮した設計をして欲しい(行政側できちり決めておくべき) 		
<h3>与野本町小学校</h3> <p>意見・要望</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童数(学級数)の推移を考慮する必要がある 少人数指導室が必要 音楽室の使い方が普及、小グループでの活動があり、空き教室を利用している 土曜授業開始、土曜チャレンジはどうなるか 現在は、交流一総合学習の時間で実施 今後は英語教育に学習時間をあてるため、交流の時間は減る 聴覚等の子供用に「言葉の教室」がある(中央区、探区の障害児が盲校) 送迎時の駐車スペースが必要・現在4室を利用している・防音設備が必要 		

今後の展開・参加者の感想等

これまでの成果の今後の生かし方

- このワークショップの内容をどうやって市民にPRするのか? 情報発信が大事
- ワークショップの成果については、検討対象が限定的であることに留意して欲しい
- 施設職員等からの細かい内容を聞く前にワークショップで検討をしてきている

検討課題など

- 現場の人の意見を先に聞きたかった
- 現場で働いている人との温度差があった
- 実現するのは市民の力が必要 ワークショップの過程を市民に共有すべき
- 1度施設について考えたから現場の人の意見がよくわかった
- 子供ワークショップ、オープンワークショップの開催方法等について更なる検討が必要
- 他の小学校とのかねあいはどうするか

ワークショップ全体を通しての感想(参加者)

- 意見をまとめるのは楽しい
- いろんな世代の人の意見を聞いてよかった
- 地元の人と交流できてよかった
- いろんな人がいるのがさいたま市であると思った
- いいものを作って欲しい
- 皆さんの意見を聞いてよかった本町小学校は地域に愛されている
- 今まで公共施設について考えていなかった
- 小学校という公共施設の重要さを知った
- 0歳~高齢者が1つの施設にするのは面白い試みだと思う
- 公共施設への意識

「わくわく」市民の交流